



小諸市消防ポンプ操法大会

かぜ 浅間の旋風

元気!やる気!!よしあき!!!

発行責任者・山岸喜昭
〒384-0022 長野県小諸市南町3丁目9番地19 TEL0267-24-2310 FAX0267-24-2320
http://asama-kaze.com E-mail voice@asama-kaze.com



総務企画警察委員会

6月定例会 一般質問 議会報告

抜粋

■長野県の高等教育について
 【山岸】県内高校から県外の大学に進学する「流出率」が高い中、県立大は県内高校生の進学の新たな選択肢となった。県内では4年制大学や公立大が開学したが、影響は？
 【教育長】県内公立高校の昨年度卒業者の内、新4年制大学・長野県立大と、公立化した長野大及び公立諏訪東京理科大を含む県内大学への進学者は、前年度に比べ140人程度増加。選択の多様化に寄与したと考えている。今後は、公立化や学部の新設による魅力の向上など、県内大学の情報を適切に提供し、生徒の学習支援に努めていく。

■創業・事業継承支援の取り組みについて

【山岸】県内経済の活力を高めるために、創業を志す若者の育成と、創業しやすい環境づくりが必要と思うが、今後の施策は？
 【産業労働部長】まず、県内の中・高に起業家教育の実践事例集を作成・配布。授業に活用し若年からの意識啓発を行う。また、4月開学の県立大や県内のワーキングスペース(約30箇所)等と連携したセミナーやイベントの開催を予定。環境づくりは、県内企業、投資家等とのオープンな交流や専門家による伴走型支援や支援拠点の形成等、絶えず間なく創業者が生まれ育つ「ベンチャー・エコシステム」を構築し、創業促進を進めていく。



※詳細は、県議会ホームページでご覧いただけます。



佐久地域振興局等と小諸市との情報交換会(7月27日)

長野県5か年計画の説明の後、小諸高校、小諸商業高校の統合、災害時の連絡・対応、今後の森林管理に係る支援、太陽光発電等、広い分野にわたり情報を交換しました。

小諸市農業青年クラブ 夏季交流会(8月2日)

農業青年事業者と農地の取得・借入・条件整備など、農業を取り巻く課題について意見交換。稲や麦、大豆の種子の生産を都道府県に義務付けた「主要農作物種子法」が廃止となったが、県は今までと変わらぬ姿勢を保ち、特産品の蕎麦を加えた「長野県主要農作物の種子生産に係る基本要綱」を4月1日より施行していることの説明もありました。



市内国道・県道 現地調査(5月31日)

佐久建設事務所・北部建設事務所立合のもと、小諸東中学校の自転車通学の実情説明の他、市内各所における道路拡幅、歩道新設、安全・渋滞対策が必要な地点を視察調査。



県政報告会(7月16日)

信州総合5か年計画の説明と皆様との意見交換。お忙しい中、たくさんの方々のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。



県営かんがい排水事業 立科幹線地区実施に伴う水路視察

井出佐久地域振興局長、市議会経建委員会の議員と視察。整備後50年を経過し、老朽化による漏水も多く、近年多発する渇水時には大きな労力が必要。防災面からも優先路線として県営事業の計画に盛り込む。



山口・広島視察 水素先進県・山口にて

クリーン技術の水素エネルギーなど、次世代エネルギーや実用化に向けての技術開発を視察。長州産業(株)の岡本晋社長から現状や今後の取り組みを聞く。



長州産業(株)の岡本晋社長と



※山口・広島視察の記事は裏面にもありますのでご覧ください。

中部横断道の更なる整備を求めて

4月28日、佐久南ICから八千穂高原ICが開通しましたが、太平洋に向けての更なる延伸を求めて、活動を続けています。7月12日建設促進期成同盟会の総会、7月17日建設促進佐久地域議員連盟の総会が開催されました。そして23日には同盟会、議員連盟の方々、県選出国会議員と、石井啓二国土交通大臣へ早期実現の要望書を提出しました。



婦恋ー小諸間 県道昇格促進期成同盟会総会(7月26日)

婦恋ー小諸間沿線地域の交流・連携により、産業・経済・観光の発展に活力を与え、また広域防災の強化にも重要な本道路の県道昇格を求めていきます。



八ッ場ダム工事現場



婦恋ー小諸線視察

2021年3月31日で 望月高等学校廃止へ 長野西高等学校通信制サテライト校の設置を検討を進める。

平成30年度の入学者は24名。この生徒たちの卒業をもつて廃止となり、長野西高等学校の通信制サテライト校設置の方向で、生徒の学習支援の仕組みづくりやキャリア教育の充実等、新たな学びの場を検討していきます。



信州で初めて開催した"2018 信州総文祭"開会式に参加。高校生約2万人が集まりました。



佐久地区 身体障がい者スポーツ大会



**6月定例会
県議**

**消防防災ヘリコプターへ
債務負担行為30億円余を設定**

6月21日に開会した6月定例会は、7月6日までの本会議で、消防防災ヘリコプターの購入手続きや信州松本空港駐車場の増設、G20関係閣僚会合の開催準備費用など総額3億7千万円余及び30億8千万円余の債務負担行為などを盛り込んだ一般会計補正予算案や特別職の職員の請負契約の締結に係る事件案及び追加提出された人事案件など知事提出の18議案を審議、いずれも原案どおり可決しました。

このほか、我が会派提出の地方財政の充実・強化や義務教育のさらなる充実、及び並行在来線への一層の財政支援、旧優生保護法に基づく当事者への速やかな救済、未成年者の喫煙防止対策の推進を求める意見書案など議員提出の7議案を可決しました。

補正予算のポイント

○信州まつもと空港の国際化等に向けた取組

国内新規路線(札幌(丘珠)線)のPRや国際チャーター便への助成拡大、駐車場増設予定地の用地測量等

3467万円

○G20関係閣僚会合の開催準備

来年6月軽井沢町で開催のG20関係閣僚会合に向け、官民一体の協議会を設立、受入体制の整備・県の魅力発信を行う

1669万円

○消防防災ヘリコプターの購入

消防防災ヘリコプター1を購入し、継続的かつ安定的な運航を実現

債務負担行為
30億4823万円

○「つながり人口」創出の推進
継続的に信州を訪れる

4606万円
債務負担行為
3948万円

**「主要農作物等種子条例」の制定を
阿部知事に緊急申し入れ**



稲や麦、大豆の種子の生産・普及を都道府県に義務付ける「主要農作物

種子法」が3月31日をもって廃止になったことを受け県は、従来と変わらない姿勢を保ちつつ、特産品のそばを加えた「長野県主要農作物の種子生産に係る基本要綱」を4月1日施行しました。

しかしながら県内には、生産者のもとより消費者からも不安の声が上がっていることから、我が会派「信州・新風・みらい」は6月22日、阿部知事に

「信州・新風・みらい」は6月11日、13日の間、山口・広島両県に視察調査に出向き、山口県では、「水素先進県」の取組や6次産業化・農工商連携人材育成研修事業、多種多様なリハビリを行うデイサービスセンター「夢のみずうみ村」の取組、広島県では、働き方改革や「みんなが減災」県民総ぐるみ運動などを学んできました。

7月5日から7日にかけて西日本を襲った豪雨では、19日現在、死者が14府県223人、行方不明者14人超、約4千人が避難を余儀なくされています。広島県では、死者112人で、4年前の土砂災害を上回るものとなってまいりました。

県政対話集会在諏訪

7月9日、諏訪市総合福祉センター「湯小路いきいき元気館」で「信州・新風・みらい」による県政対話集会を開催しました。



今回の対話集会は、諏訪市内の女性有志による「女性100年会議@諏訪」の皆さんの呼びかけ、ご協力をいただき開催する運びとなりました。

各議員から、その場でできる限りの見解をお示ししましたが、会派で整理をさせていただき今後の県政議論の中でしっかりと取り組んでまいります。

会派 先進地調査